

# 本部港における国際旅客船拠点形成計画について

## 【国際的なクルーズ船の寄港拠点の形成に向けて】

### 1. 背景

- ・東アジアにおけるクルーズ市場が急速に拡大する中、政府は「訪日クルーズ客を2020年に500万人」とする目標を示した。
- ・沖縄県においても、年間の観光客数1,200万人(内、海路客200万人)を目標として、沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、観光客の受入体制の整備を推進している。



2016年10月「官民連携による国際クルーズ拠点形成計画」を募集

沖縄県とゲンティン香港が連携して、計画書(目論見)を国に提出

2017年1月31日

「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定

### 2. 港湾法改正による国際旅客船拠点形成のための新たなスキームの創設

- (公共)係留施設等の受入環境整備
- (民間)旅客施設等への投資⇒係留施設の優先的使用権を取得

### 3. 国際旅客船拠点形成までの流れ

2017年7月8日

港湾法の一部を改正する法律施行

2017年7月26日

国際旅客船拠点形成港湾に指定



2017年7月26日 指定書交付式



- ・港湾管理者が拠点形成のための計画を作成
- ・今後、旅客施設等に投資を行う民間会社と協定を締結

## 【本部港 国際旅客船拠点形成計画の概要】

### 1. 国際旅客船拠点形成計画の目標

国際クルーズ拠点の形成することにより、北部地域の豊かな自然環境を活用したエコツーリズムや海上レジャーの促進、新たな観光ルートの形成など、沖縄本島北部地域の振興に資する観光拠点を目指す。



(目標寄港回数)	寄港回数
2020年(運用開始年)	88回
2030年	104回

### 2. 拠点形成に向けて取り組む事業 (国際旅客船取扱埠頭高度化事業)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
岸壁等の港湾施設整備 (沖縄県)		岸壁等の港湾施設整備		供用開始
旅客ターミナルビルの整備 (ゲンティン香港)		旅客ターミナルビルの設計、工事等		供用開始

### 3. 係留施設の優先的な利用

供用開始後、ゲンティン香港は、優先的に利用予約が可能となる。

- ・優先予約可能期間 15年間
- ・最大年間予約日数 150日(初年度(2020年)は、100日)

(優先予約期間 イメージ図)

N年												N+1年												N+2年											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
										優先予約受付期間												予約対象期間													